

HCL information

新型ノロウイルス検査に関する お知らせ

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨春秋以降集団発生しております新型ノロウイルス（遺伝子型GⅡ.17）の検査についてお知らせいたします。

当センターにおいてノロウイルスの検査は、下記3つの方法が受託可能です。その中でイムノクロマト法とEIA法は、新型ノロウイルス（遺伝子型GⅡ.17）の検出感度が低く十分なウイルス量があるにもかかわらず陰性となる場合があります。陰性でも感染の可能性を否定することができませんのでご注意ください。

新型ノロウイルス（遺伝子型GⅡ.17）の感染が疑われる場合は、表最下段のRT-PCR法検査を推奨いたします。新型ノロウイルス（遺伝子型GⅡ.17）の検出も、遺伝子型GⅡ.4と同様に検出されることが確認されています。ご質問やご要望があれば、担当営業までお問合せ下さい。

敬具

記

ノロウイルス受託可能検査

項目コード	項目名	検査方法	基準値	検体量	所要日数	実施点数	案内書掲載頁
1311	ノロウイルス抗原 (イムノクロマト法)	イムノクロマト法	(-)	便(小指頭大)	1~2	※150点 免疫	88頁
2220	ノロウイルス抗原 (EIA法)	EIA法	(-)	便(小指頭大)	5~7	未収載	88頁
1913	ノロウイルス抗原 (RT-PCR法)	RT-PCR法	GⅠ (-) GⅡ (-)	便(小指頭大)	2~3	未収載	88頁

※ノロウイルス抗原定性は、下記のいずれかに該当する患者について、当該ウイルス感染症が疑われる場合に算定する。
ア、3歳未満の患者 イ、65歳以上の患者 ウ、悪性腫瘍の診断が確定している患者 エ、臓器移植後の患者
オ、抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者

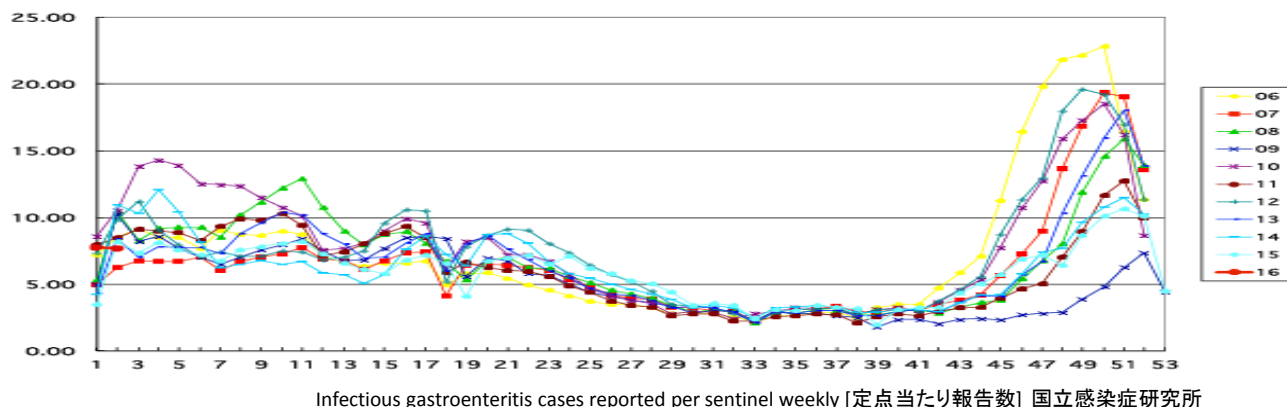


株式会社 兵庫県臨床検査研究所

本社 TEL : 079-267-1251 神戸西支所 TEL : 078-929-0492

岡山 TEL : 086-952-5218 神戸東支所 TEL : 078-252-7315

ノロウイルス遺伝子検査の有用性



■日本：主要流行株、G II.4からG II.17に

ニュースなどで報道されているとおり、昨年から新型のノロウイルスと言われている G II.17 変異型の流行が報告されています。ノロウイルス遺伝子は、G I、II 合わせて 35 株に分類されます。これまで G II.4 型が世界的に毎年流行している遺伝子型でした。しかし、2014/15 シーズンはアジアを中心に G II.17 が主要な遺伝子型となっています。弊社が受託しております「イムノクロマト法」「EIA 法」は、残念ながら G II.17 変異株の検出感度が低いことが判明しております。幸いなことに、1 月 18 日から社内ルーチン化した「RT-PCR 法は、G II.17 変異株も問題なく検出できることが確認されておりますので、現在、EIA 法やイムノクロマト法検査をご依頼頂いているお客様には、RT-PCR 法への切り替えをご検討下さるようお願い申し上げます。

1. 高感度

従来の EIA 法やイムノクロマト法の化学発光法と比較して、遺伝子検査法は、数倍から数十倍の感度があり、検出できるウイルス濃度の範囲も広く、少量のウイルスも検出可能です。（厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」では、冬場の 10～3 月におけるノロウイルス便検査に、高感度な遺伝子検査法を推奨しています。）

各種検査法感度	10	10^2	10^3	10^4	10^5	10^6	10^7	10^8	10^9
遺伝子検査法 (RT-PCR 法)					←				
EIA 法 イムノクロマト法							←		

(g 当り)

2. G I、G II の識別可能

G I、G II の識別報告が可能です。また、G II.17 変異株も問題なく検出されることが確認されています。ノロウイルスは、変異株の間で少しずつ遺伝子の並びが異なりますが、RT-PCR 法の遺伝子増幅用 PCR プライマーは、それぞれの変異株で共通する部分（並びがほぼ同じ）に設定しています。